

令和8年度 進路説明会（2回目）

はじめのことば

1. 進路決定までの日程

—就職・進学—

就職

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業所	ハローワーク 試験・採用			試験・発表		

進学

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公立	説明会・体験授業		志望校決定		入試 発表	入学手続き
私立	説明会・体験授業		志望校決定	入試・発表	入試・発表	入学手続き

進路面談

進路面談
最終決定

すでに合格通知を受け取っているご家庭は、「入学手続き」を確実に行ってください。

第1志望— 公立高校 —

10月

11月

公立高校の説明会参加(予約・個別)

【併願】私立高校の説明会参加

前期の学習の記録(評定)を参考にして

【希望制】進路面談 10/26・27・28・29

第1志望—**公立高校**—

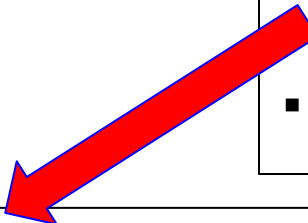
12月

11月末
学習の記録(評定)

1月

WEB出願

＜公立＞**志望校決定**⇒志願準備
・志願開始—1/25(金)



進路面談 11/30(月)～12/4(金)

志望校の決定・私立併願校＜締切12月7日(月)＞

・入試相談 12月15日～

令和8年度

次の表の通り高等学校を志願しますので、調査書等の作成をお願いします。

調査書等作成依頼書

令和8年12月 日() 3年 組 番 生徒氏名 _____

期限:令和8年12月7日 *厳守をお願いします。

保護者氏名 _____

志望 順	種 別	高校名(正式名称) (科・コース)	受験区分	入試 要項	調査書	指定 封筒	他の提出文書	出願期間	出願 方法	受 験 料	試験日時 (公立校の場合は有)	合格発表 日時・方法	入学手続き (公立は不要)
1	・国立 ・県立 ・市立 ・私立 ・その他	高等学校 科 コース	・推薦 ・書類選考 ・専(単)願 ・第一志望優先 ・一般 ・その他	必要 不要	・指定用紙 ・私学協会統一 ・公立用	有 無	・推薦書 ・延納届 ・その他 () ・無し	開始 月 日 終了 月 日	・郵送 ・WEB ・持参	・現金 ・振込	月 日 集合時間 直接試験 有・無	月 日 ・郵送 ・WEB ・手渡し	開始 月 日 終了 月 日
2	・国立 ・県立 ・市立 ・私立 ・その他	高等学校 科 コース	・一般 ・一般(併願) ・その他 ()	必要 不要	・指定用紙 ・私学協会統一 ・公立用	有 無	・推薦書 ・延納届 ・その他 () ・無し	開始 月 日 終了 月 日	・郵送 ・WEB ・持参	・現金 ・振込	月 日 集合時間 直接試験 有・無	月 日 ・郵送 ・WEB ・手渡し	開始 月 日 終了 月 日
3	・国立 ・県立 ・市立 ・私立 ・その他	高等学校 科 コース	・一般 ・一般(併願) ・その他 ()	必要 不要	・指定用紙 ・私学協会統一 ・公立用	有 無	・推薦書 ・延納届 ・その他 () ・無し	開始 月 日 終了 月 日	・郵送 ・WEB ・持参	・現金 ・振込	月 日 集合時間 直接試験 有・無	月 日 ・郵送 ・WEB ・手渡し	開始 月 日 終了 月 日

・記入に際して、ご確認ください。

1. 高等学校の募集要項などで確認しながらご記入ください。誤りや文書の不備がないようご確認ください。
2. 私立高校の調査書が「公立用調査書」も認められている場合もございます。その場合は【指定用紙】【公立用】の双方に○をつけてください。
3. 同じ私立高校を別の受験区分で受験する場合(例、推薦と一般など)は、それぞれ別の欄にご記入ください。
4. 担任に渡す書類(調査書、推薦書、指定封筒)は、学校ごとにまとめて封筒などに入れて渡してください。その封筒には記名をお願いします。
5. この用紙は、可能ならば、必要書類と共に面談時に学級担任にご提出ください。

第1志望—公立高校—

2月

共通選抜一志願変更

私立併願校入
試
⇒合格発表

共通選抜一学力検査 2/16-2/18
一特色検査 2/17-2/18

共通選抜一合格発表 2/26

3月

・入学手続き

神奈川県教育委員会 HP
に掲載されています。

受検方法等申請書

- ☐ 拡大問題冊子
- ☐ ルビ付き問題冊子
- ☐ ルビ付きマークシート
- ☐ 記述式解答用紙

長期の欠席を理由とする選抜方法申請書

- ・2年次：出席日数の1/3以上欠席した場合
- ・3年次：出席日数の1/3以上欠席した場合

第1志望—**私立**高校—

10月

11月

私立高校の説明会参加(予約・個別)

前期の学習の記録(評定)を参考にして

【希望制】進路面談 10/26・27・28・29

☆生徒は全員

第1志望—**私立**高校—

11月末
学習の記録(評定)

12月

進路面談 11/30(月)~12/4(金)

■志望校の**最終**決定

入試相談をしないと受験できない制度

・推薦 ・書類選考 ・第1志望優先 ・併願

<締切:12月7日(月)>

▶**書類選考⇒書類提出⇒(入試)⇒結果発表**

第1志望—**私立**高校—

1月

●推薦

出願⇒入試⇒発表⇒入学手続き

2月

■一般 / 併願

出願⇒入試⇒発表

⇒入学手続き

(**公立発表待ち・延納届け**)

出願準備

	願書・受験票	調査書	推薦書	延納願い	その他
公立	家庭(WEB)	学校から	×	×	学校から
私立	家庭から ↓ 学校(受験番号)	(家庭から) ↓ 学校	家庭から ↓ 学校	家庭から ↓ (学校)	家庭から

・調査書、推薦書

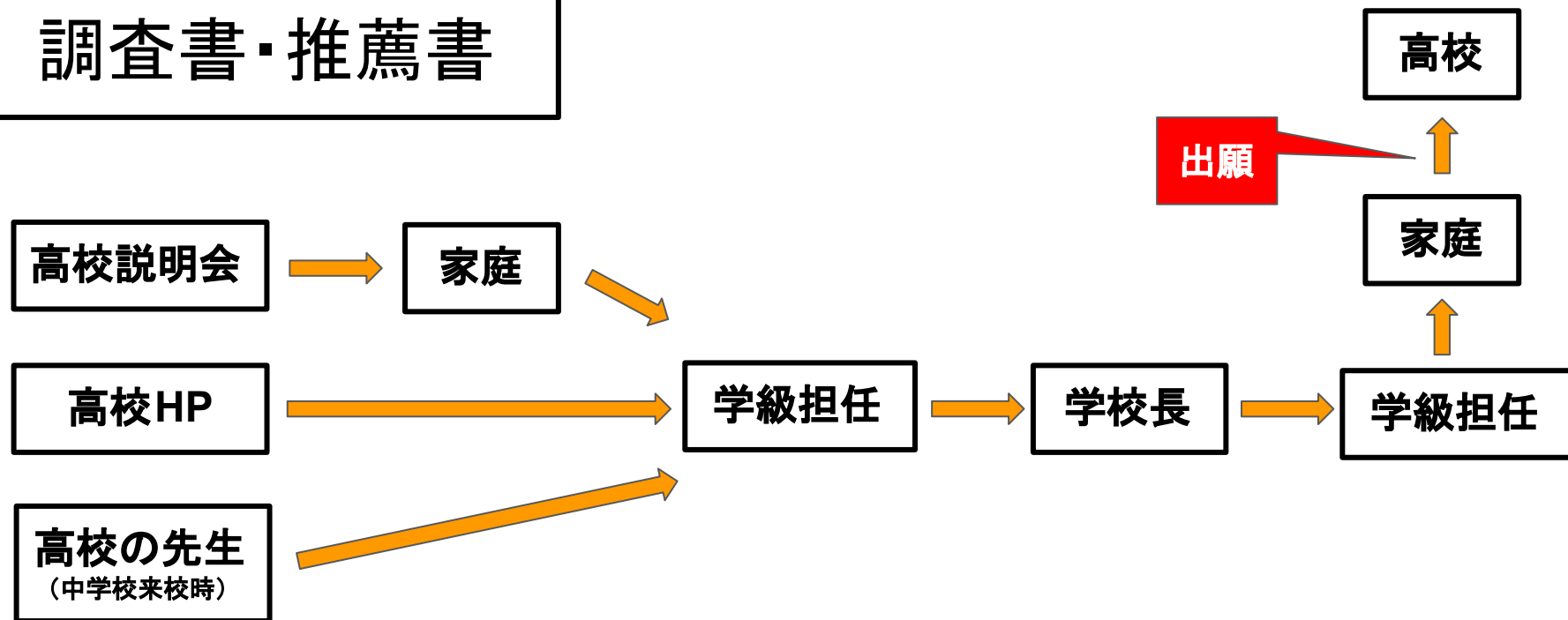


※改ざんの可能性

※専用封筒の確

認

調査書・推薦書



私立高校の出願(例)

WEBで申し込み

・WEBでない場合:
納付証明書を送る

高校からURLが送られてくる

必要事項を入力⇒送信

受験料納付

⇒志願票が送られてくる

志願票をDL・印刷

出願は生徒

調査書などを郵便局から送る

**時間は十分にかけたいのですが、
事業所、高校、有馬中学校にも
ご提出いただく文書などの期日がございます。**

これを過ぎますと、文書などを受け付けられなくなり、試験を受けられない、合格しても入学できないとこもあります。

＜私立高校や事業所の場合＞

中学校で作成した成績証明などの書類をご家庭から郵送する場合があります。

その文書は「**開封厳禁**」です。



「**開封無効**」という意味
です。絶対に開けない
でください。

事業所、高校に向け、担任はたくさんの文書を作成してきます。

その文書には、「**住民票記載の住所と氏名**」が記入されます。今回、ご提出いただいたものに訂正がある場合は、すぐに学級担任までお知らせください。

高 高

別人物と判断される。

担任が文書作成する元

調査書作成願い

- ・募集要項を読みながら記入してください。
- ・調査書が「公立用」の私立高校もあります。
- ・専用の封筒がある場合があります。
- ・願書、調査書が【科・コース】により異なる場合があります。

証明写真

公立高校: データ

私立高校: 学校による

学校で「卒業写真」(個人写真)

撮影時<10月19日>に **全員**撮影

※希望者のみ購入

(例)受験パターン

受験の仕組み -9-

公立高校 第一志望

99%合格
する高校を
選ぶ

① **公立**高校 — **私立**併願

② **公立**高校

(例)受験パターン

受験の仕組み -10-

私立高校 第一志望

①私立 推薦

②私立 書類選考 ---不合格の場合の対応を予め準備<一部
>

③私立 一般 ---不合格の場合の対応を予め準備

↓
私立 併願 ---神奈川県内私立高校の場合 1校だけ志願
可

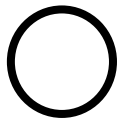
私立高校

12月7日までに決定

受験の仕組み -7-

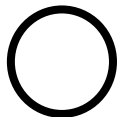
学習の記録の基準

推薦



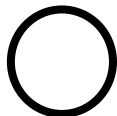
その学校だけ出願できる。(例外あり。)

書類選考



その学校だけ出願できる。(例外あり。)

併願



第2、第3志望校として受験する。
神奈川県内私立高校は1校のみ志願可。

一般



志願校数に制限なし。

12月7日までに決
定

受験の仕組み -8-

学習の記録の基準

推薦

書類選考

併願

一般

・高校側と中学校側で、志願の条件を満たしているか(成績、人物など)を確認する【入試相談】を経ないと受験資格がありません。そのため、「推薦」「書類選考」「併願」の校内申込みを
12月7日(月)とします。(例外あり)



志願校数に制限なし。

私立 入学者選抜の種類

1. 推薦《条件を満たす生徒》

①第1志望

②人物(学校生活)

③成績(出席状況)

中学校生活の3年間を通して
学校から自信を持って推薦で
きる活動状況

■例:3教科「11」以上 かつ 5教科20以上
ただし、どの教科にも「1」は不可
3年間の欠席が10日以内 3年次は3日以内

私立 入学者選抜の種類

2. 併願・一般併願《条件を満たす生徒》

第2志望校として受験する

第1志望校は「公立」「私立」どちらでも可

必須条件：第1志望校不合格の場合は、必ず入学する。

■推薦、単願（専願）、併願とも【入試相談】後は、
取り消しできません。

私立併願の組み合わせ

第1志望

第2志望(第3志望)



公立

私立一般

- ① 県内 私立併願<1校のみ>
- ② 都内 私立併願<複数校>
- ③ 県内と都内 私立併願<複数校>



公立

私立一般

県内と都内

第一志望

次の備えが必要になります。

＜不合格者を出す＞書類選考

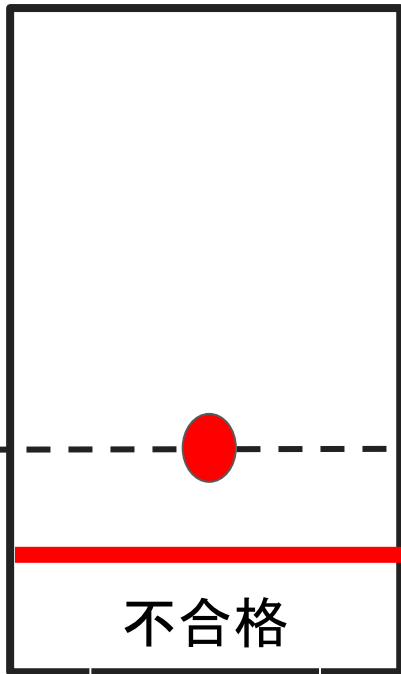
＜不合格者を出す＞推薦

入試相談期間終了後（12/20頃）に結果発表をする学校もあります。

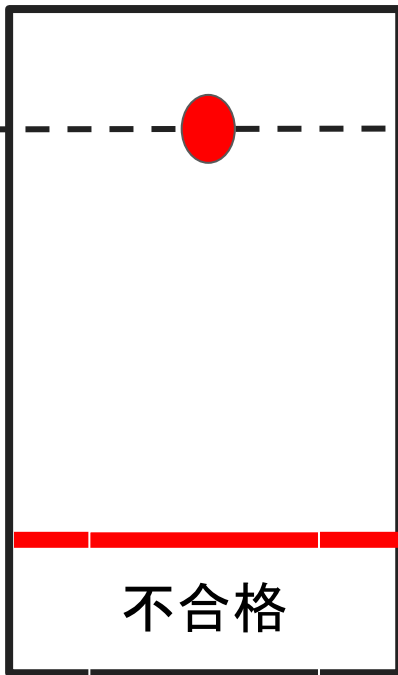
次に相談する学校の入試相談期間の確認が必要です。

志望校決定の考え方(例)

A高校



B高校



生徒Aさんの
学習の記録

110/135

110

「次の**次**」のこと考えて、「次」を考える。

大学
専門学校
就職

指定校推薦

高校

総合型選抜

高校での「内申点」「TOEIC」「実績」などで合否が決まる。

「次の**次**」のこと考えて、「次」を考える。

資格

将来の夢：保育士

「幼児教育」の学部がある大学付属の高校に進学する。

将来の夢：介護福祉士

高校在学中に「介護福祉士」の資格を取得できる高校で学ぶ。

・工業科の高校では、高収入に直結する資格を多数取得できる。

公立高校の志願校選び

「**去年は、同じ成績の生徒が・・・**」

▶「**学力検査**」(入試)の点数

面談などの活用

(私立併願校)

公立高校

- ・出願後に「志願変更」が1回だけできます。

(例)「荏田高校」⇒「元石川高校」(*校長間で確認)

- ・「志願取消」: 出願～選抜結果発表前日

2次募集について

公立高校の場合

- ・欠員が出ても募集するかは、高校の判断
- ・「どこにも合格していないこと」が条件
- ・出願は「紙」で
- ・定時制高校との併願ができる

面接シート

- ・説明会での指示に従い、用紙を各自で準備
- ・「面接シート」作成⇒担任に提出
- ・調査書と共に高校に **中学校から** 提出